

9. 4 対応策の提言

専門家会議の審議を経て、豊洲市場における対応策として、以下のことを提言する。

(1) 市場用地についての対応策

1) 地下ピット内での水銀等ガス濃度上昇防止策

- ① 地下ピット内への水銀等ガスの侵入の防止又は抑制と地下ピット内の換気を組み合わせた対策を行うことにより、将来建物 1 階部分の床（コンクリート）にひび割れ等が生じたとしても 1 階で空気中の水銀等ガス濃度が上昇することがないようにする必要がある。
- ② 検討案 1 及び検討案 2（表 9.3.1 参照）は、いずれも上記①のための対策方法として妥当であると判断する。

2) 補助 315 号線連絡通路部の水銀等ガス濃度上昇防止策

- ① 観測用人孔外側のベントナイト混合土層との境界部分からの水銀等ガスの侵入防止を図り、上部砕石層内の水銀等ガス濃度が上昇しないように対応する必要がある。また、上部砕石層内の水銀ガス濃度が上昇するようであれば換気等を行うべきである。
- ② 水銀等ガス対応方法（図 9.3.1 参照）は、上記①の水銀等ガス侵入防止のための方法として妥当であると判断する。

(2) 地下水管理システムの機能強化

- ① 地下水管理システムの機能強化を図り、早期に目標管理水位（A.P.+1.8m）まで地下水水位を低下させるとともに、地下水水位上昇時の揚水機能を強化する必要がある。
- ② 地下水管理システムによる地下水水位上昇時の揚水処理により、汚染地下水を徐々に回収し、地下水汚染を徐々に浄化していくべきである。
- ③ 地下水管理システムの稼動にともなう市場用地内での地下水質の変化をモニタリングにより管理していくべきである。
- ④ 地下水管理システムの機能強化方法（表 9.3.2 参照）は、上記①及び②のための対策方法として妥当であると判断する。
- ⑤ 今後の地下水モニタリング案（表 9.3.3、図 9.3.2 参照）は、上記③のための方法として妥当であると判断する。